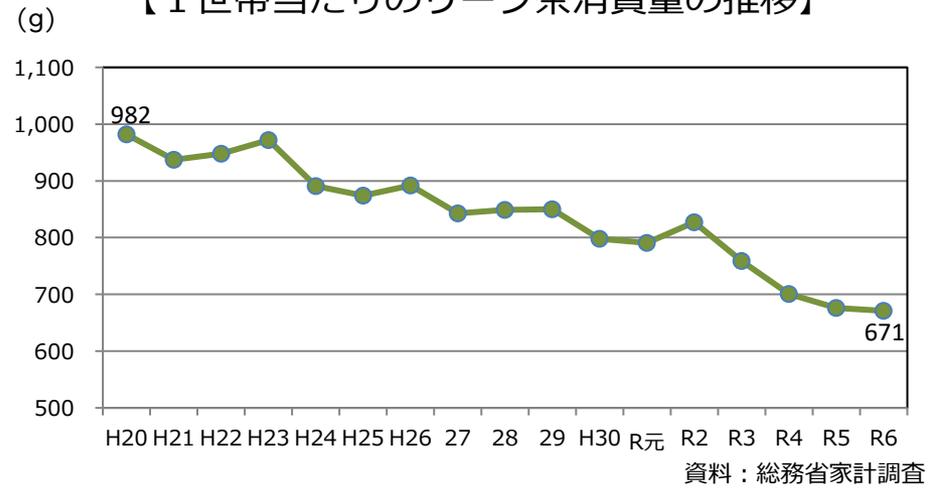


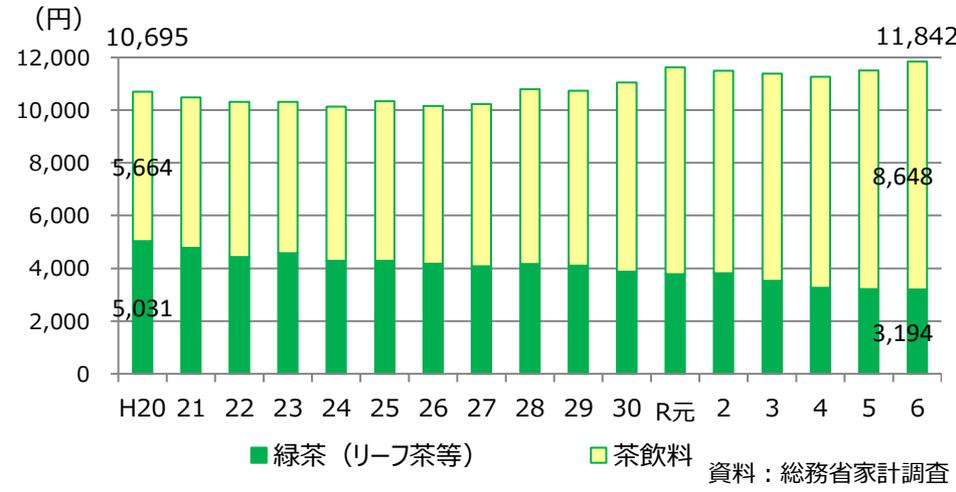
4. お茶の消費動向①

- 緑茶（リーフ茶）の消費量は減少傾向。
- 一方、簡便化志向等で緑茶飲料の消費量は増加傾向。
- 年齢別1世帯当たりの年間支出額は、年代が低いほど少なく年代が高いほど多い特徴。

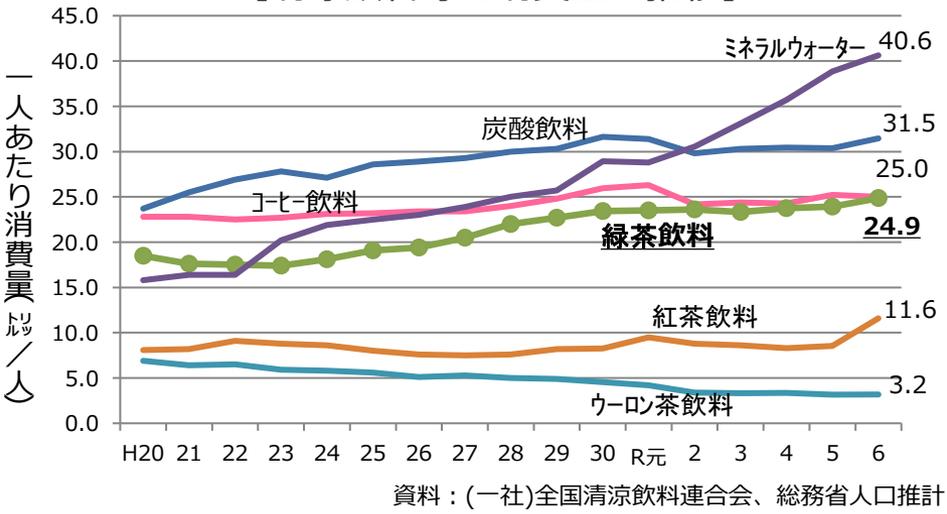
【1世帯当たりのリーフ茶消費量の推移】



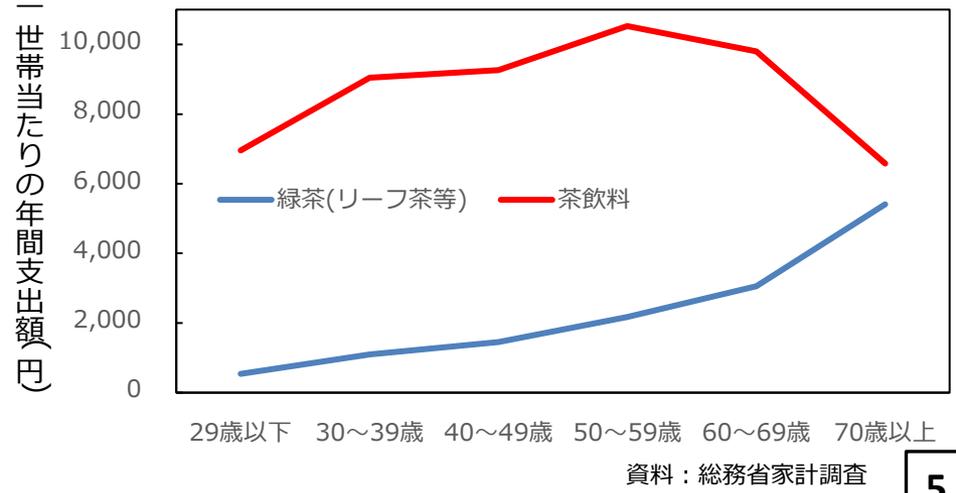
【1世帯当たりの緑茶・茶飲料の年間支出金額】



【清涼飲料等の消費量の推移】



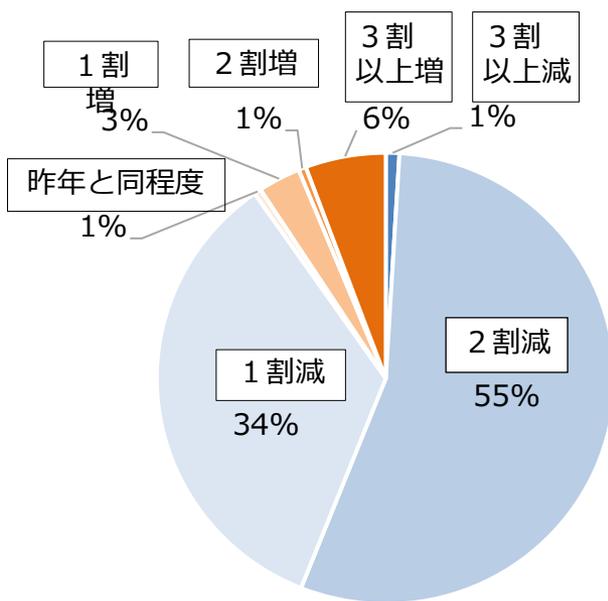
【年齢別の緑茶と茶飲料の消費動向（令和6年）】



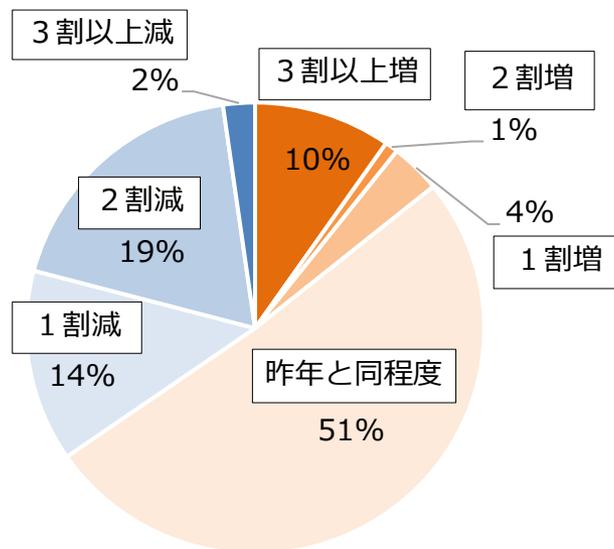
5. お茶の消費動向②

- 茶の卸・小売事業者等に対し、令和6年12月末時点の荒茶在庫量及び令和7年産の荒茶仕入れ見込みについて調査及び聞き取りを実施。
- 回答のあった事業者の荒茶**在庫量**は、去年同期比で「減少」が9割、「増加」が1割。
- 海外を中心に需要の高まっている抹茶の原料となるてん茶の引き合いは強いものの、普通煎茶を主体とする**一番茶**の荒茶仕入れ見込量は「昨年と同程度」が5割、昨年より「増加」が2割弱、「減少」が4割弱。
- また、**一番茶以外（二番茶以降）**の荒茶仕入れ見込量は昨年より「増加」が8割弱、「昨年と同程度」が2割弱。

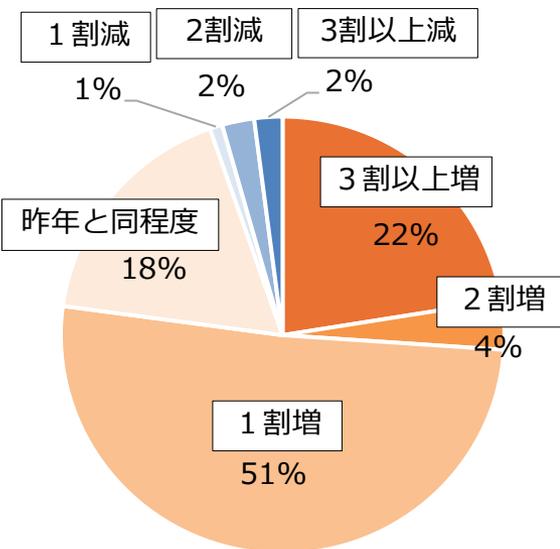
○令和6年12月末時点の荒茶**在庫量**
(令和5年12月末時点との比較)



○令和7年産**一番茶**の
荒茶仕入れ見込量
(令和6年産との比較)



○令和7年産**一番茶以外**の
荒茶仕入れ見込量
(令和6年産との比較)



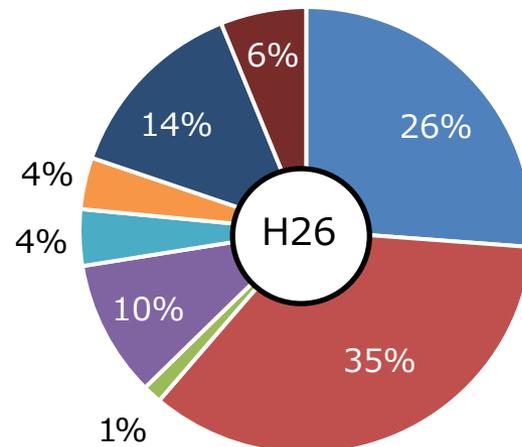
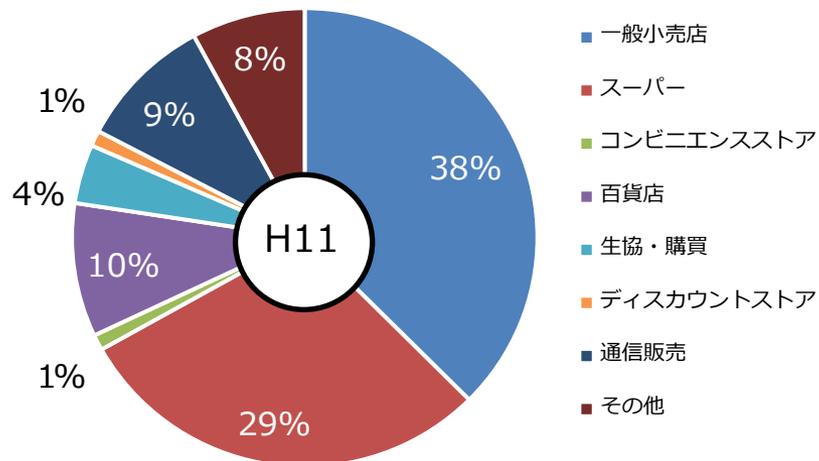
※ 集計に当たっては、各回答があった事業者の数を単純にカウントするのではなく、各事業者の在庫量又は仕入れ量により重みづけを行った。具体的には、
 ・在庫量調査においては、「3割以上減」、「2割減」等の各回答階級毎に当該回答をした事業者の令和6年12月末時点の荒茶在庫量を合計し、全体の在庫量に対する割合を算出
 ・仕入れ見込み調査においては、「3割以上増」、「昨年と同程度」等の各回答階級毎に当該回答をした事業者の令和6年の荒茶仕入れ量を合計し、全体の仕入れ量に対する割合を算出

資料：農林水産省農産物果樹・茶グループ調べ。全国茶商工業協同組合連合会、全国茶生産団体連合会等を通じた事業者へのアンケート調査結果から、有効回答（在庫量：53件、仕入れ見込量：52件（一番茶）、50件（一番茶以外））を集計。回答者の荒茶仕入量の合計は、R6年の荒茶生産量の約57%。

6. 消費市場の変化

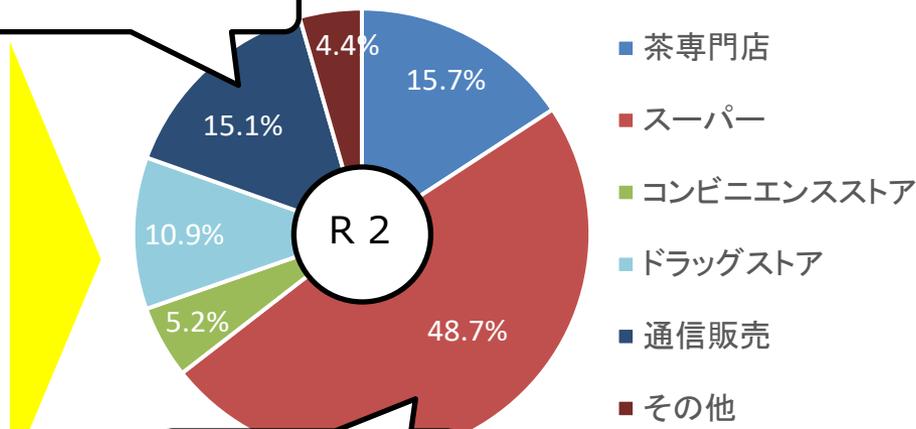
- 消費者による緑茶の購入は、平成11年では茶専門店を含む一般小売店からが最も多かったが、その後、**スーパーからの購入等が増加**。
- 通信販売の割合も増加しており、**購入元も販売店、茶商、生産者など多様化**している。

【緑茶の購入先の変化】



H11及びH26
資料：総務省「全国消費実態調査」

通信販売の利用が増加。



スーパーからの購入が増加。

R2
資料：農林水産省「緑茶の飲用に関する意識・意向調査結果」より（一部改変）

7. 日本茶と暮らそうプロジェクト

- 様々な暮らしの中でお茶を楽しむ「日本茶と暮らそうプロジェクト」を令和3年から開始。
- 令和7年度は4月25日から「お茶をはじめてみよう～チャチャっとお茶生活キャンペーン～」を開始し、産地や事業者等から寄せられた日本茶をおいしく手軽に楽しめる情報を発信。
- 農林水産省YouTubeにて、**新茶と併せて簡便なお茶の淹れ方**を紹介。

キャンペーンに関する情報発信

○農林水産省のホームページ上に専用のページを設置

お茶をはじめてみよう「チャチャっとお茶生活キャンペーン」

農林水産省は、今年の新茶シーズンの本格化にあわせて、「お茶をはじめてみよう～チャチャっとお茶生活キャンペーン～」を開始します。本キャンペーンを通じて、茶産地や茶関連事業者から、日本茶をおいしく手軽に楽しめる情報を寄せいただき、多くの消費者の皆様へ日本茶を楽しんでもらう情報を発信することで、一層の消費拡大に取り組みます。

このページは、随時更新します！

応募方法については、以下のチラシ・実施要領を御参照ください。

「お茶をはじめてみよう～チャチャっとお茶生活キャンペーン～」チラシ(PDF: 725KB) 

「お茶をはじめてみよう～チャチャっとお茶生活キャンペーン～」実施要領(PDF: 200KB) 



知覧茶専門店yogū (鹿児島県南九州市)



▶ 月に一日だけオープンする和喫茶です。普段お茶を飲

株式会社銘茶問屋 太田園 (静岡県島田市)



(株)銘茶問屋
余 太田園



農水省から情報発信



おいしく手軽にお茶を
楽しめる情報が見つかる

(※情報は、随時受け付け)

○農林水産省YouTube (BUZZ MAFF)で
鹿児島県の茶畑や美味しいお茶の淹れ方を紹介。



一番茶の収穫の様子
及び碾茶工場を紹介。

急須によるお茶の淹れ方、
水出し茶の作り方等を
実演で紹介。



— 視聴者の反応 —

- ・お茶の入れ方も学べて良かった！
- ・今度緑茶を丁寧に淹れてみたい 等 (令和7年5月2日から公開中)

8. 消費の拡大（茶の機能性のPR）

- 茶に含まれるメチル化カテキンやエピガロカテキン等の機能性成分を解明するとともに、機能性をPRした消費拡大の取組を推進。

べにふうき (メチル化カテキン)

- 花粉、ハウスダストやほこりなどによる目や鼻の不快感を軽減させることが報告されている「メチル化カテキン」を含む。



水出し緑茶 (エピガロカテキン)

- 水出し緑茶は、お湯で淹れた緑茶に比べ、「エピガロカテキン（EGC）」の割合が高く、免疫機能の維持に期待。（R3年度よりヒト介入試験を実施）



サンルージュ (アントシアニン)

- 眼精疲労軽減効果が期待される「アントシアニン」含量が高い。



茶の機能性を消費者にPRする動きが活発化

機能性をPRした茶の消費拡大の取組



【茶業団体】
機能性をPRしたパンフレット



【農林水産省】
機能性をPRしたパンフレット



農水省HPでの
情報発信



健康機能性
ウェブセミナー



機能性表示食品の例

※カテキンを機能性関与成分として機能性表示食品の届出が行われた茶（販売中のもの）：62件（令和8年1月20日時点）